



特集



赤い羽根 共同募金

10月1日～6日に民生委員児童委員協議会、老人クラブ、地区社会福祉協議会等の皆様のご協力により街頭募金を実施。
募金のご支援いただき、ありがとうございました。募金額 357,340円。

赤い羽根共同募金は、戦後間もない昭和22年（1947年）に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体（NPOや地区社会福祉協議会、ボランティア団体、区老人クラブ連合会等）を応援する「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

また、近年では、災害が多く発生しており、特に大規模災害に備えて、災害ボランティアセンターの立ち上げをスムーズに行うための準備資金として一部積み立てをしています。

赤い羽根共同募金は、地域で集めていただく「戸別募金」や企業で集めていただく「法人募金」があります。
今回は、企業の理解と協力による募金活動にスポットをあてて紹介します。



募金箱設置：企業・店舗の受付等に設置～企業の社会貢献活動～



大岡産業株式会社 札幌ゴルフセンター 様
(平和通2丁目北3)



社会福祉法人 美松善隣会 白石ハイツ 様
(本通16丁目北4)



笑和酒場 けいちゃん 様
(東札幌3条5丁目1)



北門信用金庫 白石支店 様
(本通4丁目北1)



有限会社 道新大塚 様
(平和通6丁目北2)

職域募金：従業員の皆様による募金～企業の社会貢献活動～

赤い羽根共同募金にご理解いただき、職場の従業員へ募金を呼びかける活動



職員の皆様に募金を呼びかけ、また共同募金ピンバッジにもご協力いただきました。

北洋銀行 白石中央支店 様 (本通4丁目南2)